



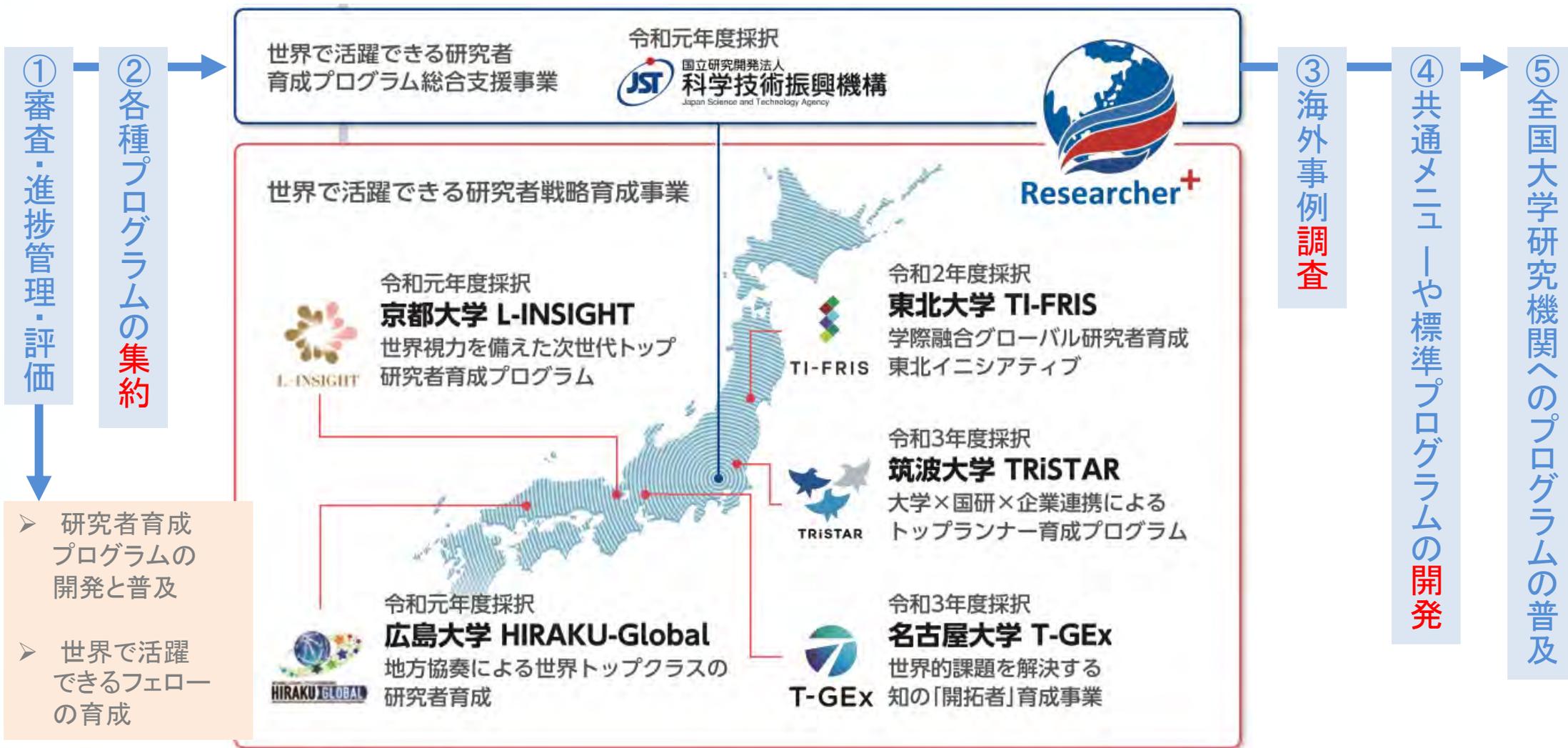
# R1~5年度 JST 「世界で活躍できる研究者育成プログラム総合支援事業」 における取組事例

プログラム・オフィサー  
山口 陽子



科学技術振興機構

# JST総合支援事業による研究者育成プログラムの開発



## ②各種プログラムの集約



### ➤ 研究者育成プログラム・パッケージ【第1版】

全国の大学研究機関様に  
事業の多種多様なプログラムをご参照いただけるよう体系化





# 研究者育成プログラムを整理分類する指標

## プログラム・フレームワーク



研究者の研究活動による分類

運営手段・方法による分類

プログラム・フレームワークによる分類

研究成果の社会還元のために

実施機関	講座等名称	内容	運営手段・方法	ネットワーキング	表裏力	コミュニケーション	チームワーク	リーダーシップ	ライティング	チームマネジメント	プロジェクトマネジメント	ビルドマネジメント	問題解決力	創造力	研究技術・専門知識	汎用技術・知識	グローバル能力	倫理	キャリア開発
L-INSIGHT	【活動促進支援】動画制作		周辺環境 (インフラ)の整備 ファンドの提供	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
HIRAKU-Global	各種セミナー (Visionary Empowerment 及び Professional Empowerment の観点から企画)	・コンソーシアムメンターによるワークショップ「未来を向いて歩むシリーズ」 ・研究交流セミナー ・外部講師等による若手研究者のためのセミナー	学びの場の提供 意欲向上の促進 リエゾン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
HIRAKU-Global (徳島大学)	スタートアップ・スタジオ「U-tera」	徳島大学発スタートアップを支援	学びの場の提供 リエゾン																○
HIRAKU-Global (徳島大学)	クラウドファンディング「Otsucle」	一般社団法人大学支援機構と連携し、クラウドファンディングを利用したアウトリーチ活動等で資金調達を支援	ファンドの提供 交流の場の提供	○	○	○	○	○											
HIRAKU-Global (愛媛大学)	四国型次世代科学技術チャレンジプログラム	地域と世界で活躍する科学人材の育成	学びの場の提供 交流の場の提供	○	○	○	○	○											○
TI-FRIS	【研究社会実装プログラム】 産学共同研究サポート・社会実装サポート	社会と連携して研究成果を社会に活かせる力 (社会性) を強化するため、TI-FRIS フェローが参画企業等との産学共同研究を実施する際のアドバイザーによるサポートを行う。材料研究開発や産学連携で豊富なご経験をお持ちの吉田栄吉先生 (東北大学産学連携先端材料研究開発センター (MaSC) 副センター長・特任教授) にアドバイザーをお願いしている。	リエゾン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
TI-FRIS	【研究社会実装プログラム】 産学共同研究・社会実装支援	課題募集による経費支援。優れた共同研究や社会実装の提案を公募し、研究費の支援を行う。(審査により採択、1件あたり上限50万円(各年)、2年間)	ファンドの提供	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
TRiSTAR	【異分野・異業種クロスオーバー】 研究の発明相談会	「発見」の中に潜む「発明」要素を特定し特許にするための視座の獲得を目的とした講義および個別相談。研究者が予期せぬトラブルに巻き込まれないための知識も学べる内容。	学びの場の提供	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
T-GEx	【PI 育成セミナー】 『研究成果を活かすための知的財産の基礎知識』	発見と発明の違い、どんな発明が特許を受けられるか、特許権の使い道、特許出願の流れと出願前の注意点など、研究者として知っておくと役立つ知的財産の基礎知識について学ぶ。また、自身の研究成果を意図し、特許出願の可能性について探る機会とする。	学びの場の提供							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
T-GEx	【PI 育成セミナー】 『大学発ベンチャーの創り方～ベンチャー設立経緯談と学内資金調達攻略～』	「起業」は研究成果を社会に役立てる手段の一つである。起業を選択するメリット、起業に至った経緯、ベンチャー設立のための学内支援プログラムなどについて、ベンチャー設立経験のある研究者、ベンチャー設立を目指す研究者から情報を得る。	学びの場の提供							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

### ③海外事例調査

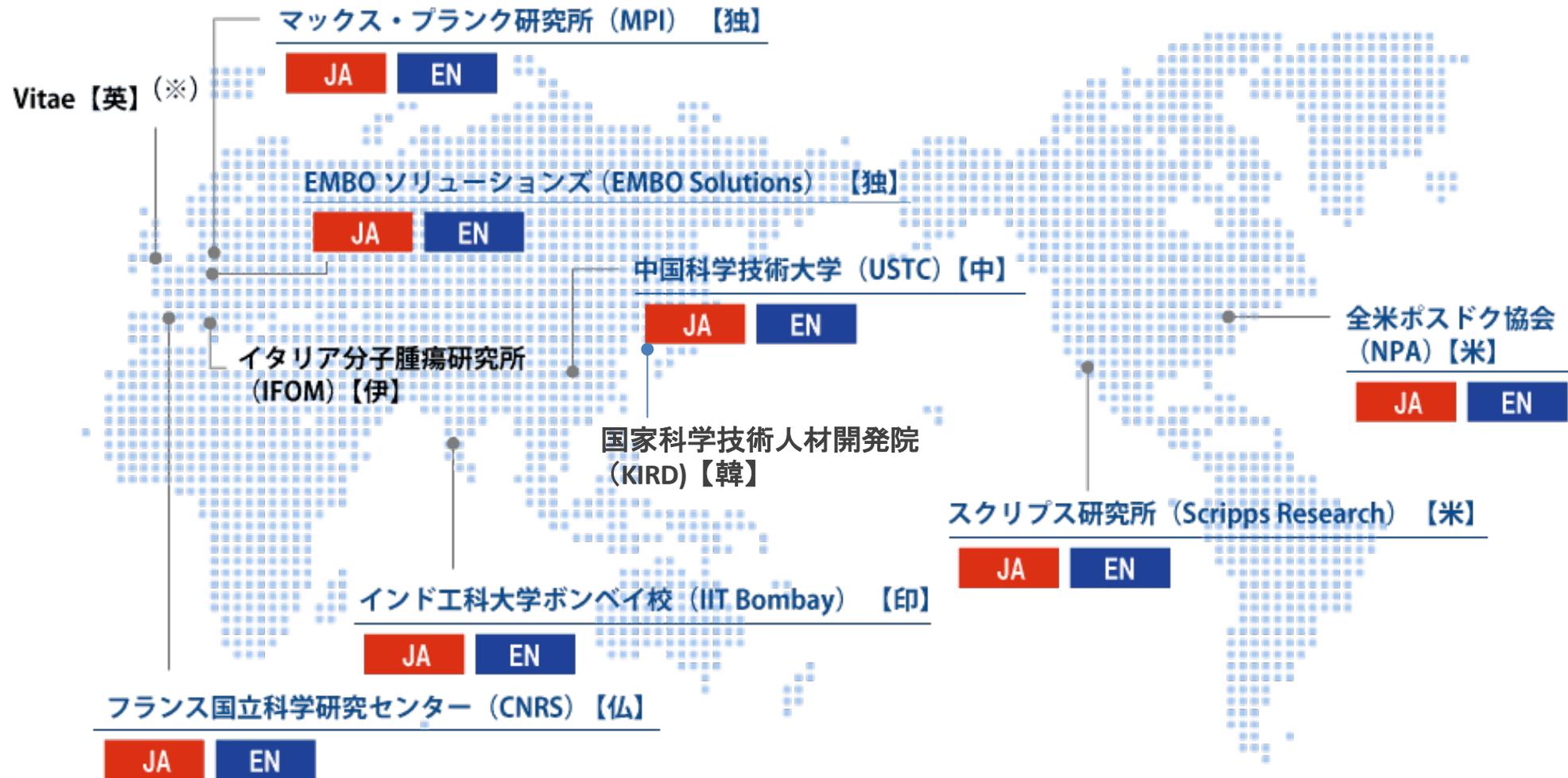


#### ➤ **Researcher Developmentにむけた取組を調査**

世界の基準、トレンドはどう変化？日本のアカデミアにも馴染む取り組みは？

# 海外の研究者育成プログラムの開発状況を調査

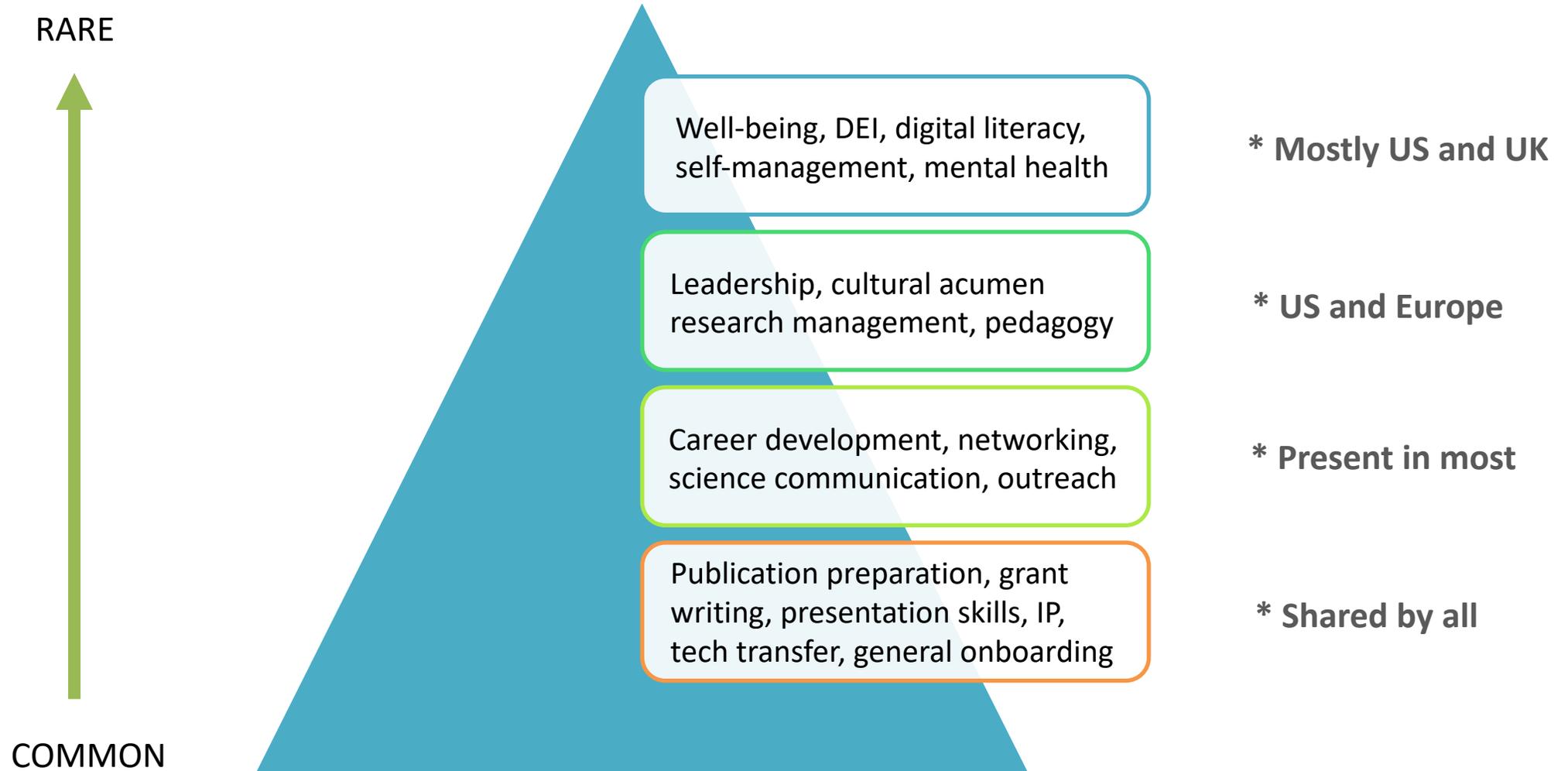
※開発・運営担当者にオンラインでインタビュー



- 調査の詳細は、JST 世界事業HPをご覧ください

<https://www.jst.go.jp/innov-jinzai/sekai/survey/casestudy/overseas/>

# Distribution of RD program topics in 10 cites



Analized by Dr. Irina Filonova (JST Associate Fellow)

## ④ 共通メニューや標準プログラムの開発



- 研究+ $\alpha$ の活動支援プログラム
- 研究者のための+ $\alpha$ シリーズ
- 教本・副読冊子提供等

全国の大学研究機関様にご利用いただけるように

# 研究+αの活動支援プログラム ～ネットワークを促進～

諸外国ではテニユア取得の場面において研究成果以外に学会活動等も評価されます。また、若い頃の同年代の研究者や様々な関連分野の関係者との絆は一生の財産になります。ニューノーマルの時代における新しい国際学術関係を再構築し、世界的な社会課題解決や新しい学問の中心となるような活動を支援します。

## ファンドの提供



### ①国際イベント主宰支援

国際的なイベント（国際会議や国際交流イベントの創設、電子ジャーナルや国際学会の設立等）を目指す取組を支援します。活動経費は初年度500万円/年を上限とし、年度毎に漸減しながら最長3年間支給します。



### ②国際学会活動支援

高水準の既存の国際学会、国際会議、国際ジャーナルでの活動（President, GC, TPC, Editor in Chief等）を目指す取組を支援します。活動経費は50万円/年を上限とし、最長3年間支給します。



### ③異分野異業種交流支援

研究者が異分野の研究者や異業種の人材とネットワークを形成する支援です。JSTがプラットフォームを構築し、研究者が普段交流する機会のない異分野で活躍する若手人材と対話する機会を提供します。



世界で活躍できる研究者育成プログラム総合支援事業  
「研究+αの活動支援プログラム」

富田賢吾さんの活動事例  
(東北大学大学院理学研究科 准教授)



国際会議 Protostars and Planets VII  
及びフォローアップ研究会の主催



世界で活躍できる研究者育成プログラム総合支援事業  
「研究+αの活動支援プログラム」

高安 亮紀さんの活動事例  
(筑波大学 システム情報系 助教)



無限次元力学系に対する  
計算機援用証明を通じた国際共同研究



①国際イベント主宰支援



今回の大会開催は オーガナイザーである富田さん  
武藤さんの尽力なしには実現できませんでした



②国際学会活動支援



彼は最新かつ先端の技術を研究していて  
とても興味を持ったので2018年に日本を訪ねました

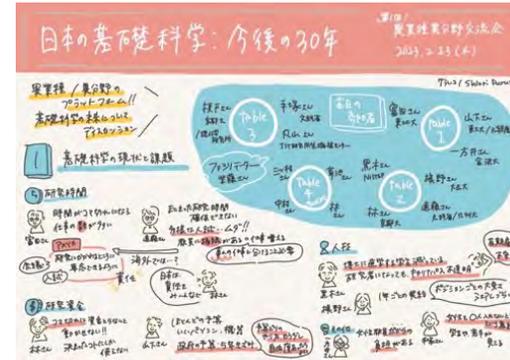
Q 高安さんとのコンボのきっかけ

## ■ 国内プラットフォームの運営



### ③ 異分野異業種交流支援

- ① 研究者 x 行政の若手 「日本の基礎科学: 今後の30年」
- ② 研究者 x 科学メディアの若手 「次世代アカデミアのソーシャルネットワーク」
- ③ 研究者 x 産業界の若手 「令和時代の産学協同一企業と大学の理想的なコラボ」
- ④ 研究者 x 博士起業家 「社会実装に向けたアントレプレナーシップ」



## ■ 海外プラットフォームの利用

シンガポールNSF主催 GYSS (Global Young Scientists Summit) への参加枠を確保。

GYSSとは、ノーベル賞フィールズ賞等の受賞者20名、世界中からトップレベルの若手研究者300名ほどが集うクローズドの会。



# 研究者のための+αシリーズ ~オンラインセミナー・WSの提供~

## 研究者の成長を支援する「研究者のための+αシリーズ」開講

世界に影響を与えるような研究を行うには、研究者が突出した専門知識や技術を極めるだけではなく、研究に付随するさまざまな能力も高めておくことが重要です。プロジェクトの管理術やリーダーシップ、コミュニケーションの工夫、ネットワーキングの戦略、そしてキャリア向上に向けた自己管理などが、研究の発展性に大きく影響するためです。しかしこれらの能力開発を体系的に学ぶ機会が少なく、所属する研究室や学術コミュニティによって学びに差がありました。

2020年10月に開講した「研究者のための+αシリーズ」では、研究者の能力開発に向けた座学やワークショップを、全国のあらゆる分野、あらゆるキャリア層の研究者にオンラ

インで提供しています。これまでのシリーズでは英国の先進的な研究者育成プログラムVitaeなどの協力を得て、研究者がキャリアを成功させる上で、能力開発に取り組む重要性や提案した若手研究者から夢の実現に必要なマインドセットを学ぶ機会を設けました。参加者は延べ800人ほどに



英国と連携して開講した英国Vitaeのグローバル・ネットワーキング・フォーラム。研究者の能力開発やスキル向上の取り組みを体系化し、その活動は海外にも影響力を及ぼしている。

世界で活躍できる研究者育成プログラム総合支援事業  
<https://www.jst.go.jp/innov-jinzai/sekai/>

(2021年のJSTニュースより)

■プログラム・フレームワークに紐づいた講座(セミナー・ワークショップ)を企画運営

■英国Vitae、JST 国際部、AMED、京大WPI事業等との連携企画も。

■国内外から多くの研究者が参加。

## ~6回/年 開催

- Vol.1** 2020年10月12日  
 What is Researcher Development?  
 ー英国Vitaeがすすめる研究者能力開発とはー  
 Janet Metcalfe, Katie Wheat (英国 Vitae)  
[Q&A](#) [動画](#) [ポスター](#)
- Vol.2** 2020年11月12日  
 Professional Development Planning for Researchers  
 ー5年後の自分とすめる研究者職能開発とー  
 Tori Helmer (英国 Vitae)  
[Q&A](#) [動画](#) [ポスター](#)
- Vol.3** 2021年2月1日  
 The Benefits of Professional and Career Development for Researchers  
 ー研究者のポテンシャルを映し出すRDFー  
 Janet Metcalfe, Kate Jones (英国 Vitae)  
[Q&A](#) [動画](#) [ポスター](#)
- Vol.4** 2021年2月22日  
 Professional Development Planning for Researchers  
 ー研究ネットワークを広げるにはー  
 Jen Allanson (英国 Vitae, Skillfluence)  
[Q&A](#) [動画](#) [ポスター](#)
- Vol.5** 2021年3月18日  
 Develop Your Niche Over the World  
 ー研究者発ベンチャー起業のマインドセットー  
 各務 茂夫 (東京大学), 中村 友哉 (株式会社アクセルベース), 石山 流 (株式会社エクサワイザーズ)  
[Q&A](#) [動画](#) [ポスター](#)
- Vol.6** 2021年5月27日  
 The Importance of Career Development for Researchers  
 ー研究者が就活するうえで心得るべきこととはー  
 Janet Metcalfe, Katie Wheat (英国 Vitae)  
[Q&A](#) [動画](#) [ポスター](#)
- Vol.7** 2021年7月16日  
 Managing Your Career for Researchers  
 ーあなたの価値観とモチベーションを振り返るー  
 Daniela Bultoc (英国 Vitae)  
[Q&A](#) [動画](#) [ポスター](#)
- Vol.8** 2021年8月13日  
 How to Give an Impressive Pitch Presentation in Global Situations  
 ー研究者の国際R&D戦略としてのセールストークー  
 Ron Read (HGC社)  
[Q&A](#) [動画](#) [ポスター](#)
- Vol.9** 2021年9月10日  
 Thinking While Acting to Flourish Your Research  
 ー研究人生あるある問題とその対処法ー  
 島岡 要 (三重大学)  
[Q&A](#) [動画](#) [ポスター](#)
- Vol.10** 2021年11月12日  
 Socializing & Networking at Global Academic Events  
 ー研究者のための国際社交術の心得ー  
 Ron Read (HGC社)  
[Q&A](#) [動画](#) [ポスター](#)
- Vol.11** 2022年1月17日  
 How Do Researchers Make a Social Impact?  
 ーアカデミアから社会的価値を生むためのマインドセットー  
 各務 茂夫 (東京大学)  
[Q&A](#) [動画](#) [ポスター](#)
- Vol.12** 2022年3月30日  
 Create Your New World!  
 ー専門研究から融合研究を開拓するー  
 矢野 和男 (日立製作所), 安浦 寛人 (本事業PD)  
[Q&A](#) [動画](#) [ポスター](#)
- Vol.13** 2022年6月24日  
 Telling Your Story in a Scientific Paper  
 ー国際トップジャーナル編集者の目線から見た論文執筆の効果的な技法ー  
 Spyros GOULAS (京都大学)  
[Q&A](#) [動画](#) [ポスター](#)
- Vol.14** 2022年8月25日  
 How to Develop Your Diplomacy as a Researcher  
 ー「研究者」と「外交」ー  
 狩野 光伸 (岡山大学), JST国際部  
[Q&A](#) [動画](#) [ポスター](#)
- Vol.15** 2022年9月1日  
 Beyond Border, Beyond Disciplines  
 ー国境を越えた異分野融合研究の魅力ー  
 藤波 啓一 (大阪大学・理研), 角五 彰 (北海道大学), 酒井 朋子 (AMED)  
[Q&A](#) [動画](#) [ポスター](#)
- Vol.16** 2022年11月17日  
 Tips for Sharing Your Science News With the World  
 Brian Lin (AAAS' EurekAlert!)  
[Q&A](#) [動画](#) [ポスター](#)
- Vol.17** 2022年11月22日  
 Challenge Interdisciplinary Research Abroad at the Postdoc Stage  
 ーポストドク時代に海外で新たな研究分野に挑戦するー  
 土松 隆志 (東京大学), 酒井 朋子 (AMED)  
[Q&A](#) [動画](#) [ポスター](#)
- Vol.18** 2023年1月13日  
 Understanding the Nature of the Editorial Process  
 Fight or Flight the Rejection Letter  
 Spyros GOULAS (京都大学)  
[Q&A](#) [動画](#) [ポスター](#)
- Vol.19** 2023年6月16日  
 The Benefit of Global Networking on the Performance  
 ーみんなどうしてる? 国際ネットワークを活かす方ー  
 川上 恵里加 (理研RQC), 寺澤 洋子 (筑波国際部)  
[Q&A](#) [動画](#) [ポスター](#)
- Vol.20** 2023年10月23日~24日  
 Expanding Your Global Reputation as a Researcher  
 ー国際イベントでチャンスを掴むコミュニケーションー  
 Irina Filonova (the phd whisperer)  
[Q&A](#) [動画](#) [ポスター](#)
- Vol.21** 2023年10月27日 (金)  
 Entering the Minds of Scientific Editors  
 Understanding Journal Strategies  
 ー論文採択プロセスの深淵へー  
 Spyros GOULAS (京都大学)  
[Q&A](#) [動画](#) [ポスター](#)
- Vol.22** 2023年12月20日 (水)  
 Create Your Research World  
 ーあなたの力で新しい世界をきりひらくー  
 安浦 寛人 (本事業PD), 南宮 湖 (慶徳義塾 浩昌 (自然科学研究機構), 新藤 洋子 (広島 亮紀 (筑波大学), 高田 賢吾 (東北大学)  
[Q&A](#) [動画](#) [ポスター](#)
- Vol.23** 2023年12月26日 (火)  
 Are you ready to be a competitive researcher?  
 ー国際舞台での活躍に向けてー  
 Eugenia Chan (A\*STAR Graduate Academy 美 (JSTシンガポール事務所)  
[Q&A](#) [動画](#) [ポスター](#)
- Vol.24** 2024年2月7日 (水)  
 Why Building a Global Network is Crucial to Research Growth  
 ーあなたの研究を世界レベルで高めようー  
 石川 冬木 (京都大学), 桑川 泰一 (HFSP, 京都大学)  
[Q&A](#) [動画](#) [ポスター](#)
- Vol.25** 2024年2月26日 (月)  
 Mastering Networking Skills:  
 ーグローバルなネットワークは最初の一步ー  
 Irina Filonova (the phd whisperer)  
[Q&A](#) [動画](#) [ポスター](#)

## アーカイブ化

YouTube JP

東京研究開発法人 科学技術振興機構

### JST Channel

@jst\_channel · チャンネル登録者数 2.18万人 · 1901本の動画

国立研究開発法人科学技術振興機構の公式チャンネルです。 >

[jst.go.jp](http://jst.go.jp)、他2件のリンク

チャンネル登録

How to Develop Your Dipl...

Beyond Border, Beyond Di...

研究者のための+αシリーズ Vol.14 (オ...

How to Deve... Researcher

「研究者」と

研究者のための+αシリーズ Vol.15 (オンラインセミナー)

Beyond Border, Beyond Disciplines

国境を越えた異分野融合研究の魅力

# 教本・副読冊子等の提供

## Vitae教材

(Introduction to Research Leadership 英語オリジナル版・和訳版)



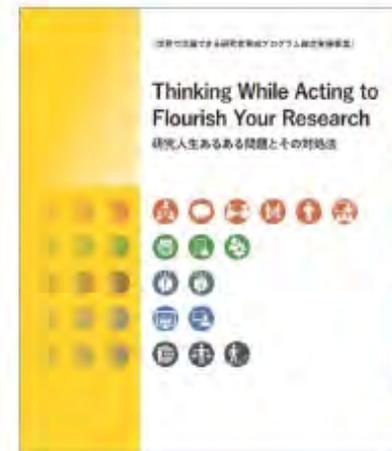
詳細はこちらから



- 01 ネットワーキング
- 05 リーダーシップ
- 07 チームマネジメント
- 09 セルフマネジメント
- 16 キャリア開発

## 研究人生あるある問題とその対処法

(研究者のための+αシリーズ Vol.9 質疑応答集)



詳細はこちらから



- 01 ネットワーキング
- 02 表現力
- 03 コミュニケーション
- 04 チームワーク
- 05 リーダーシップ
- 06 ティーチング
- 07 チームマネジメント
- 08 プロジェクトマネジメント
- 09 セルフマネジメント
- 10 問題解決力
- 11 創造力
- 12 研究技術・専門知識
- 13 汎用技術・知識
- 14 グローバル能力
- 15 倫理
- 16 キャリア開発

## ⑤全国大学研究機関へのプログラムの普及



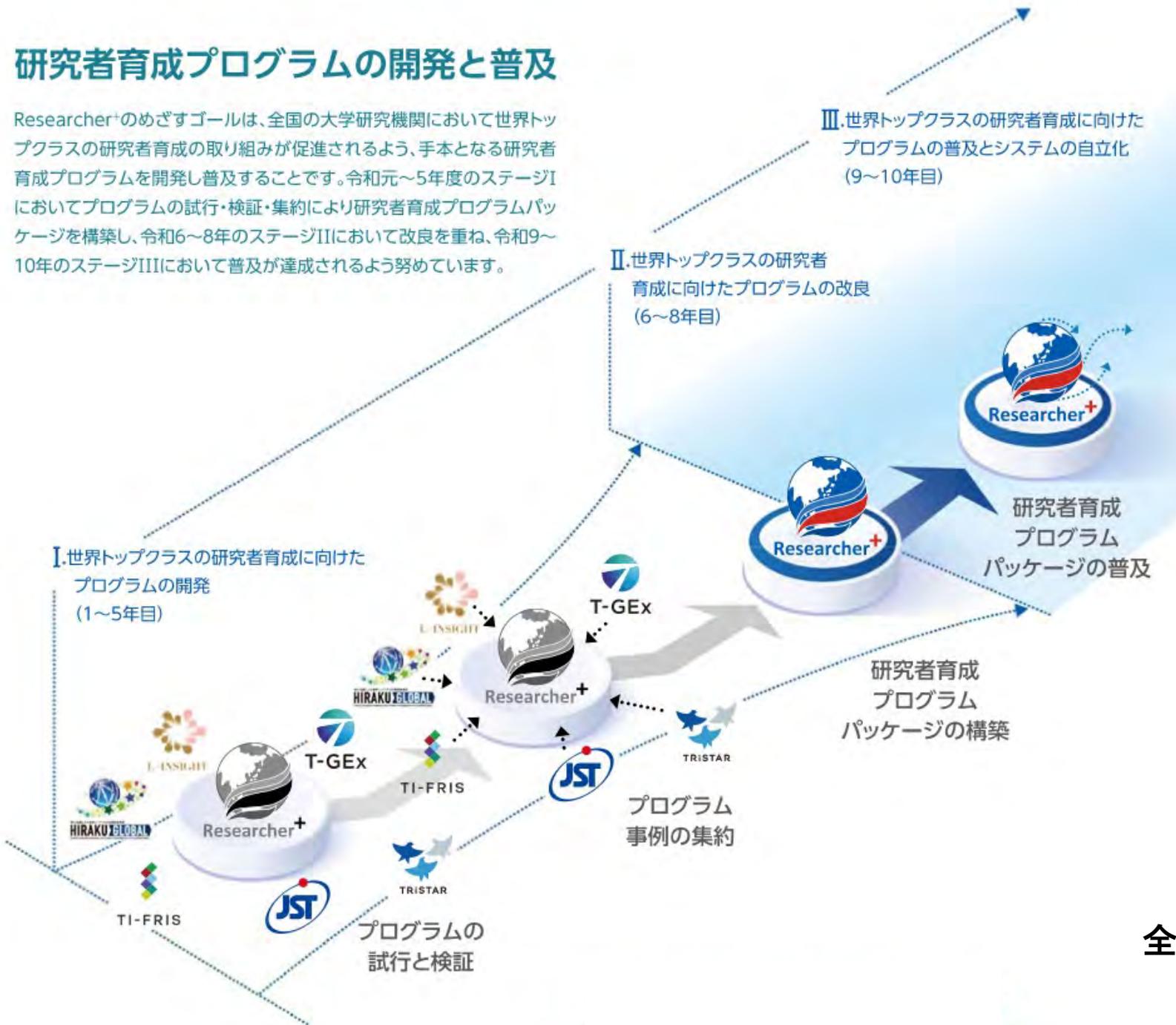
# 研究者育成プログラムの開発と普及

Researcher+のめざすゴールは、全国の大学研究機関において世界トップクラスの研究者育成の取り組みが促進されるよう、手本となる研究者育成プログラムを開発し普及することです。令和元～5年度のステージIにおいてプログラムの試行・検証・集約により研究者育成プログラムパッケージを構築し、令和6～8年のステージIIにおいて改良を重ね、令和9～10年のステージIIIにおいて普及が達成されるよう努めています。

III.世界トップクラスの研究者育成に向けたプログラムの普及とシステムの自立化 (9～10年目)

II.世界トップクラスの研究者育成に向けたプログラムの改良 (6～8年目)

I.世界トップクラスの研究者育成に向けたプログラムの開発 (1～5年目)



## Researcher+

### 設置区分別 大学キャンパス分布MAP

※短期大学を除く  
(2022年5月現在)



全国の大学研究機関に利活用いただける効果的なプログラムの構築を！